

解答・解説

会話文の解答・解説・日本語訳

1 会話文の読み取り

各2点／10点

(1) イ

ミカはI want to see the robots ...と述べています。science clubはロボットを作った科学部です。

(2) ウ

ロボットはRoom 203にあります。校門は2人の待ち合わせ場所です。

(3) ア

The show starts at one thirty.より、発表開始は午後1時30分です。午後1時はミカが到着できる時刻、1時10分は待ち合わせ時刻です。

(4) ウ

After the show ... move a small robot with a computerから、発表後にコンピュータで小さなロボットを動かす体験ができます。

(5) イ

ミカの提案はat the school gate at one ten。コウタもOK.と応じているため、午後1時10分に校門で待ち合わせます。

採点：各2点。部分点なし。人物の希望、場所、開始時刻、体験内容、待ち合わせを区別して読み取ります。

会話文の日本語訳

ミカ：こんにちは、コウタ。今日の午後、学校祭に行くつもりです。科学部が作ったロボットを見たいです。どこにあるか知っていますか。

コウタ：はい。203教室にあります。発表は1時30分に始まります。

ミカ：よかった。私は1時に着けます。何か体験できることはありますか。

コウタ：あります。発表のあと、コンピュータで小さなロボットを動かせます。姉は去年それを体験して楽しんでいました。

ミカ：楽しそうですね。1時10分に校門で会いましょう。

コウタ：わかりました。一緒に203教室に行けますね。

sisterは姉・妹のどちらも表せます。ここでは「姉」と訳しています。

解答・解説

関係代名詞・分詞・間接疑問文

2 文法・語句の選択

各2点／16点

(1) ウ：who

説明される名詞は「人」を表すa friendです。who can speak three languagesが「3か国語を話せる」という説明を加えます。

(2) ア：which

a machineは「物」なのでwhichを使えます。which makes ice creamで「アイスクリームを作る」という意味です。

(3) イ：where Ken lives

間接疑問文は、ここでは「疑問詞＋主語＋動詞」の語順です。whereのあとをKen livesとします。doesは使いません。

(4) エ：reading

the girlを「本を読んでいる」と後ろから説明します。文全体の動詞はisなので、空所にis readingを入れることはできません。

(5) イ：made

かばんは「作られる側」です。makeの過去分詞madeを使い、a bag made in Japanとします。

(6) ウ：since

sinceは「いつから続いているか」という起点を表します。forはfor four yearsのように期間を表します。

(7) ア：been

have been to ～で「～へ行ったことがある」。twiceは「2回」で、経験を表しています。

(8) エ：to

want＋人＋to＋動詞の原形で「人に～してほしい」。wants me to washで「私に洗ってほしい」となります。

補足：(1) (2) は、選択肢にあればthatも使えます。have gone to ～は、通常「～へ行ってしまって、今ここにいない」という意味です。

採点：各2点。部分点なし。

解答・解説

語形変化・語句の並べ替え

3 語形変化

各2点／10点

(1) written

writeの過去分詞。a story written by a famous writerで「有名な作家によって書かれた物語」。過去形 wroteは入りません。

(2) standing

男性自身が「立っている」ので現在分詞standingを使います。standing near the doorがThe manを後ろから説明します。

(3) built

「建てられた」という受け身はbe動詞＋過去分詞。buildの過去分詞はbuiltです。

(4) studying

過去から今まで続く動作はhave been＋動詞のing形で表せます。studyにingを付けるとstudying。studingとはしません。

(5) lives

whoが指すa friendは単数です。「その友達が住んでいる」と考え、三人称単数現在の-sを付けます。

採点：各2点。部分点なし。

4 語句の並べ替え

各3点／12点

(1) Do you know what time the library closes?

Do you knowに続けると、what time＋主語＋動詞の語順です。doesは使いません。

(2) This is a picture taken by my father.

「父に撮られた写真」なので過去分詞takenを使います。写真のあとに「父が撮った」という説明を付けます。

(3) This is the book that I bought yesterday.

that以下がthe bookを説明します。thatがboughtの目的語の役割をするので、boughtのあとにitを足しません。

(4) It is important for us to help each other.

It is＋形容詞＋for＋人＋to＋動詞の原形。each otherは「互いに」です。

採点：指定語句をすべて使い、語順が正しい：2点。さらに文全体を大文字・符号も含めて正しく書けている：1点。語順が正しくない答案は0点。

解答・解説

関係代名詞・分詞・間接疑問文

5 英文の書き換え

各3点／12点

(1)

I have a friend who can speak French.

a friendとSheは同じ人です。Sheの代わりにwhoを使って説明を続けます。whoが主語の役割をするので、who she can ...とはしません。

(2)

This is the cake which my sister made.

the cakeとitは同じ物です。whichを使うとitは不要です。which my sister made itとはしません。

(3)

The girl playing the piano is Emi.

この文ではwho is playing the pianoを、playing the pianoという分詞のまとまりで言い換えられます。「ピアノを弾いている少女」が文全体の主語です。

(4)

I don't know where Tom works.

間接疑問文なのでwhereのあとをTom worksにします。元の疑問文にあったdoesは使わず、workに-sを付けます。

採点基準（各3点）

次の指定構造が正しく書けている場合に、それぞれ2点を与えます。

- (1) who can speak Frenchの構造が正しい。
- (2) which my sister madeとし、重複するitがない。
- (3) The girl playing the pianoというまとまりが正しい。
- (4) where Tom worksというまとまりが正しい。

それぞれ、上記を満たし、文全体の形・大文字・符号も正しければ追加1点。指定された構造が成立していない場合は0点とします。

解答・解説

案内表・長文読解の解答

6 案内表の読み取り

10点

(1) Room 101 【3点】

Reading with Childrenの行とPlaceの列が交わる部分を読みます。

(2) ア 【3点】

アは10時、イは11時、ウは10時30分に終了します。10時15分までに学校を出るには、アだけが条件に合います。途中で帰るのではなく、最初から最後まで参加する条件です。

(3) イ 【4点】

理由例：午前10時から11時までの活動なので最初から最後まで参加でき、ミナ好きな絵を描く活動だから。

採点：イを選択2点／10～11時まで参加できること1点／絵を描くことが好きだから1点。同じ意味なら別の表現も可。理由の点は、イについて正しく説明できている場合に与えます。

7 長文読解

各4点／20点

(1) 子どもたちが何を必要としているのかを、本人たちに聞くため。

先生の提案が根拠です。本を届けるのは、その後のBook Dayです。

(2) 生徒たちがもう必要としなくなり、由衣たちが集めた本。

themは直前のforty booksを指します。動物の本20冊だけを指すものではありません。

(3) They left forty books at the center.

Yui's class left forty books at the center.も正解。質問は過去形なので、leaveの過去形leftを使います。

(4) イ

Saki read a story to five children.と一致します。ア：本は購入していません。ウ：犬の本です。エ：本は児童センターに置きました。

(5) ①助け方を決める前に相手の話を聞き、何を必要としているのかを知ること。

②すでに持っている物でも、ほかの人の役に立てられること。

最後の段落の2つの学びを整理します。新しい本を買わなくても、相手の話を聞き、使われなくなった本を集めることで役に立てました。

解答・解説

長文の日本語訳・記述問題の採点

7 長文読解：本文の意味

先月、私たちのクラスは、町の子どもたちのためにBook Dayを計画しました。最初、私は子どもたちに新しい本を買いたいと思っていました。しかし先生は、「決める前に、子どもたちが何を必要としているか聞きましょう」と言いました。

私たちは児童センターを訪れました。多くの子どもたちは動物についての本を欲しがっていましたが、センターには少ししかありませんでした。また、一緒に本を読んでくれる人を望む子どもたちもいました。訪問のあと、私たちは生徒たちがもう必要としなくなった本を集めました。40冊集まり、そのうち20冊が動物についての本でした。

Book Dayに、私たちは本をセンターへ持っていきました。友達のサキは5人の子どもたちに物語を読みました。私は犬についての本を探している少年を手伝いました。本が見つかり、少年は笑顔になり、読み始めました。私たちは、子どもたちがあとでも楽しめるように、40冊すべてをセンターに置いてきました。

私はこの経験から2つの大切なことを学びました。助け方を決める前に、相手の話を聞くべきだということです。また、私たちがすでに持っている物が、ほかの誰かの役に立つこともあります。人を助けるために、いつも新しい物を買う必要があるわけではありません。

記述問題の採点基準

(1) 4点

「子どもたちが何を必要としているか（希望）を知るため」など、訪問の目的が伝われば4点。「本人に聞く」という方法の記載は満点の条件にしません。「子どもたちの話を聞くため」のみ：2点。

(2) 4点

「由衣たちが集めた本」「生徒から集まった40冊の本」など、対象を特定：4点。「本」のみ：2点。

(3) 4点

40冊を置いていったことを主語・動詞のある文で正しく表現：4点。内容は正しいが軽微な文法誤り：3点。Forty books. のように冊数だけ：2点。fortyを40としても可。

(4) 4点

イのみ正解。部分点なし。

(5) 各2点、計4点

- ①話を聞くことと、必要なことを知る・助け方を決めることを結び付ける：2点。「人の話を聞く」のみ：1点。
- ②すでに持っている物を他者のために役立てられると説明：2点。「物を大切に使う」のみ：1点。

日本語の解答は、意味が同じなら表現の違いは問いません。

解答・解説

条件付き英作文・採点基準・実施前の確認

8 条件付き英作文

10点

解答例（28語・3文）

I want to introduce my grandfather.

He is a person who always listens to me carefully.

I respect him because he helps me when I have a problem.

私は祖父を紹介したいです。祖父は、いつも私の話を注意深く聞いてくれる人です。私が困ったときに助けてくれるので、私は祖父を尊敬しています。

書き方の手順

- ① I want to introduce ～. で、紹介する人を書く。
- ② He / She is a person who ～. で、行動や特徴を書く。
- ③ I respect him / her because ～. で、尊敬する理由を書く。

難しい単語より、身近で具体的な理由を正しく伝えることが大切です。whoが指す人が1人なら、helpsやlistensの-sに注意します。becauseは必須ではありません。

採点基準（計10点）

人物の紹介【2点】：誰かが伝わる1点／紹介部分の英文が正しい1点。

whoによる説明【3点】：行動・特徴が伝わる1点／関係代名詞whoの構造が正しい2点。構造は成立するが三単現の-sなどに軽微な誤りがある場合、この2点分は1点。

尊敬する理由【3点】：理由が明確2点（一部不明確なら1点）／理由を述べる英文が正しい追加1点。

形式【2点】：3文で書いている1点／合計25～40語1点。

別の人物・理由でも条件を満たせば正解。同じ誤りは重複して減点しません。語数の範囲外でも内容・文法を一律0点にしません。無関係な英文や意味のある解答になっていないものは0点です。

実施前の確認

- ・関係代名詞（主格・目的格）・分詞の後置修飾・間接疑問文を学習済みの学校向けです。現在完了進行形も復習として含みます。
- ・仮定法は含みません。教科書・学校の試験範囲に合わせて調整してください。
- ・大問8つ／全35問／100点。配点は10・16・10・12・12・10・20・10点です。
- ・50分を想定しています。生徒による所要時間の実測と実機印刷は未実施です。